

(公表用様式)

業務再点検結果報告

組織名	林野庁森林整備部治山課	連絡先	03-6744-2306
所管する業務の概要	治山事業の推進に関すること、山地災害の防止に関すること、保安林制度に関すること		

1. 基本的な心構え・行動			
・現在行っている取組や工夫		・点検によって得られた課題とその改善策	
組織内で意志疎通を図る機会を積極的に設け、それぞれの業務の進捗状況、問題点及び今後の対応方針を確認しつつ、業務を推進することとしている。		職員一人一人が、担当する業務内容と責任範囲を確実に認識するとともに、省全体の政策・事業の理解度を高め、充実した行政サービスを提供していく取組が必要である。	
事業の実施や制度の運用に当たっては、技術や規制に関する基準等に基づき、公平かつ中立的な対応に努めている。		公平かつ中立性を確保していくためには、常にフィードバック、検証を行いながら対応することが必要である。	

2. 政策・事業等の企画立案・推進			
・現在行っている取組や工夫		・点検によって得られた課題とその改善策	
定期的に行っているブロック会議やヒアリング等を通じて、地域のニーズ等を把握するとともに、その都度、問題解決を図るよう努めている。		政策への反映が期待される意見等については、その都度対応だけでなく、定期的に組織内で総覧、検証等を行っていくことが必要である。	
分かりやすいパンフレットの作成やHPへの掲載などを通じて、政策目的等が幅広く理解される取組を進めている。また、緊急性のある情報（災害の発生状況、対応状況など）は、速やかに部署内で情報共有するとともに、HP等により広く国民の方々にお知らせしている。		作成した資料等の理解度などをフォローアップし、より良い資料づくりを心掛けるとともに、常に新しい情報となるよう努めることが必要である。	

3. リスク管理		
・現在行っている取組や工夫		・点検によって得られた課題とその改善策
業務のクロスチェックを行うなど内部牽制機能を確保するとともに、外部からの指摘、「消費者の部屋」に寄せられた意見等については、組織内で情報共有を図り、問題の発生防止に努めている。		業務によっては進行管理表の作成など更に内部牽制機能を高めるとともに、外部からの意見等については、情報共有を図るだけでなく、蓄積を行い、将来類似事案が発生しないよう努めることも必要である。
ヒヤリ・ハット事例を参考に、業務の進め方を見直すとともに、関係部局にも注意喚起を図り、類似事例の発生防止に努めている。		今後ともヒヤリハット事例の収集、蓄積を図るとともに、事例を踏まえた業務改善策については、十分検証を加えた上で活用していくことが必要である。

4. その他の重要な取組		
・現在行っている取組や工夫		・点検によって得られた課題とその改善策
都道府県担当者に対する業務アンケートを行い、地域ニーズ等を把握し、その結果を参考に国民視点に立った政策の企画立案、事業の推進、丁寧・誠実・親切な対応がより一層図られるよう取り組んでいる。		アンケート調査については、取組が始まったばかりであることから、さらに幅広く国民ニーズを把握するよう努めることが必要である。
課員等が業務に関連するそれぞれの課題・話題を持ち寄り、定期的にディスカッションする場(勉強会)を設け、知見の取得・共有や問題解決等に役立てている。		林野行政への要望、経常業務への反映を意識した課題選定や開催手法の工夫により、さらに充実したものとしていく必要がある。